

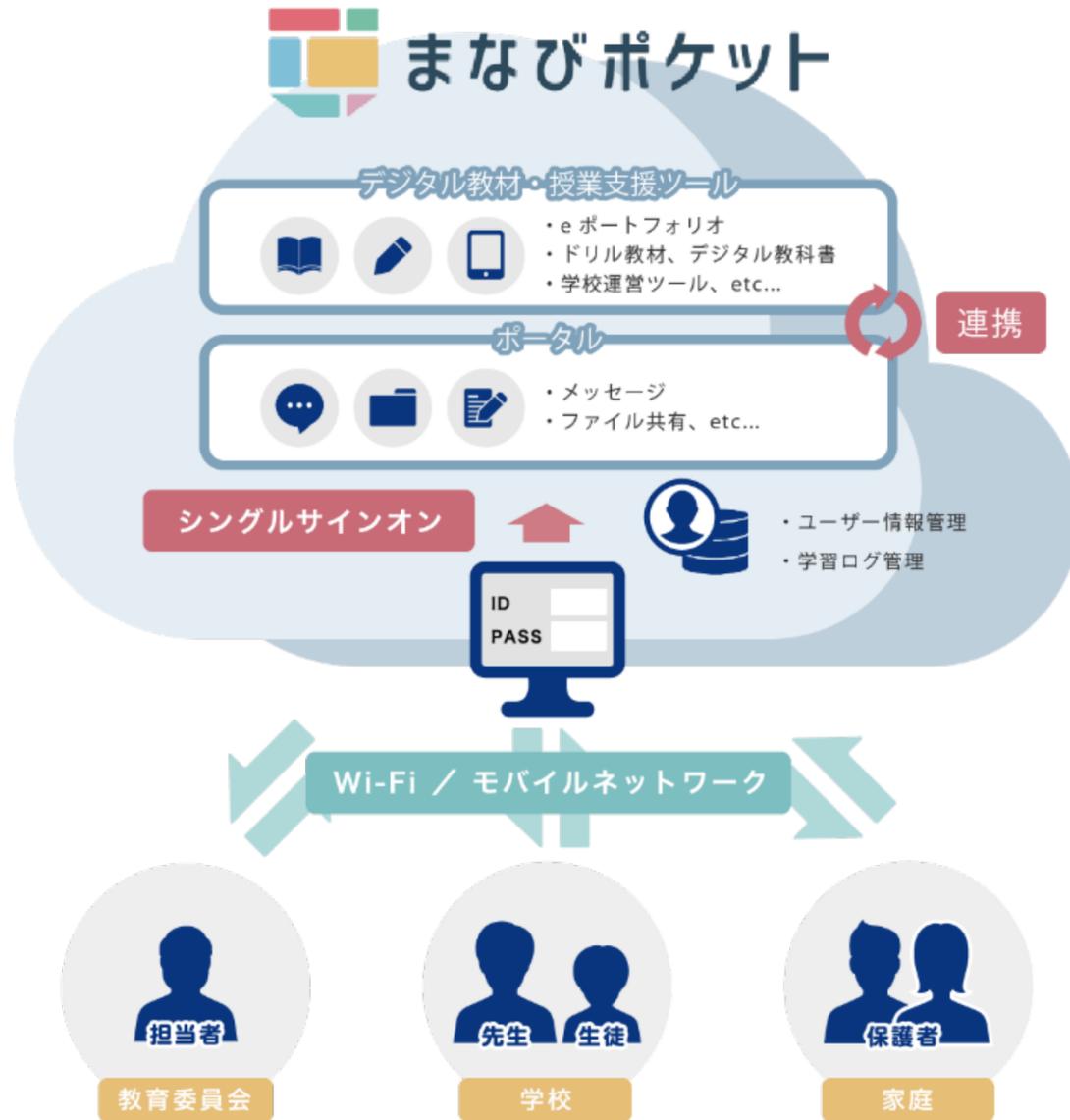
# 教育データの取り扱いに関する課題

## (教育データ利活用に関する有識者会議)

2022年5月31日

NTTコミュニケーションズ株式会社

# 当社が提供しているサービス：まなびポケット



- 30以上の事業者の学習コンテンツ/ツールを提供するプラットフォームサービス
- 全国9,000校超に導入、300万人超が利用中
- アプリケーションは全てシングルサインオンで利用可能、Google WorkspaceやMicrosoft365とも連携
- 無償で学習コンテンツの利用状況や学習データを分析・可視化する機能や保護者連絡機能等を提供
- 2021年12月よりMEXCBTとの連携を開始



学習コンテンツの提供、学習データの安全管理、データを分析し現場にフィードバック、複数の役割・観点を踏まえ、皆さんの参考になる意見が出せるよう心掛けます

## ルールとツールの観点での課題

1.

### 情報の取り扱い・契約に関する整理

事業者が個人情報を含む教育データ取り扱う際  
学校現場や児童生徒の権利を阻害しないよう  
どのような対応が必要となるのか  
具体的な整理が必要

2.

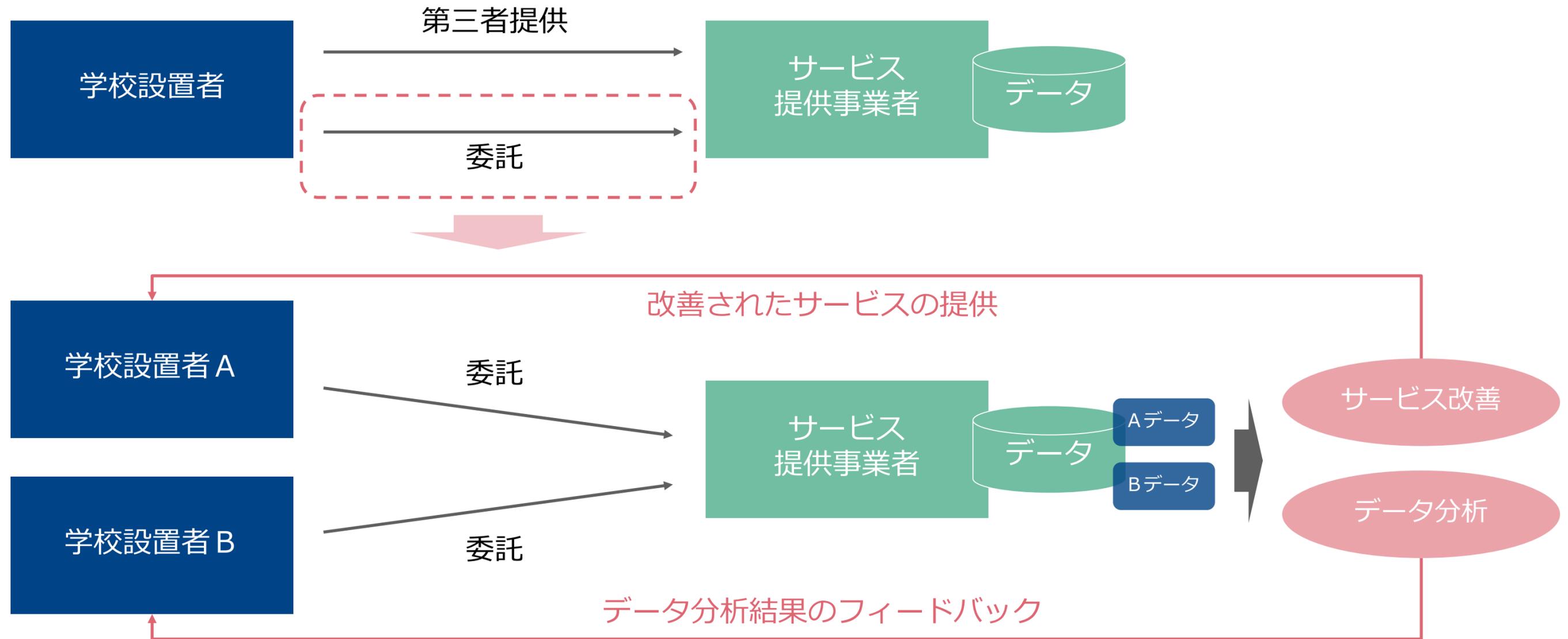
### システムとして対策が必要なこと

データ駆動型教育を実現するにあたり  
安心・安全にデータが活用でき  
教職員の負荷を減らす環境の  
整備が必要

次頁以降にて、上記の課題の具体例を明記します

# 情報の取り扱い・契約に関する整理①

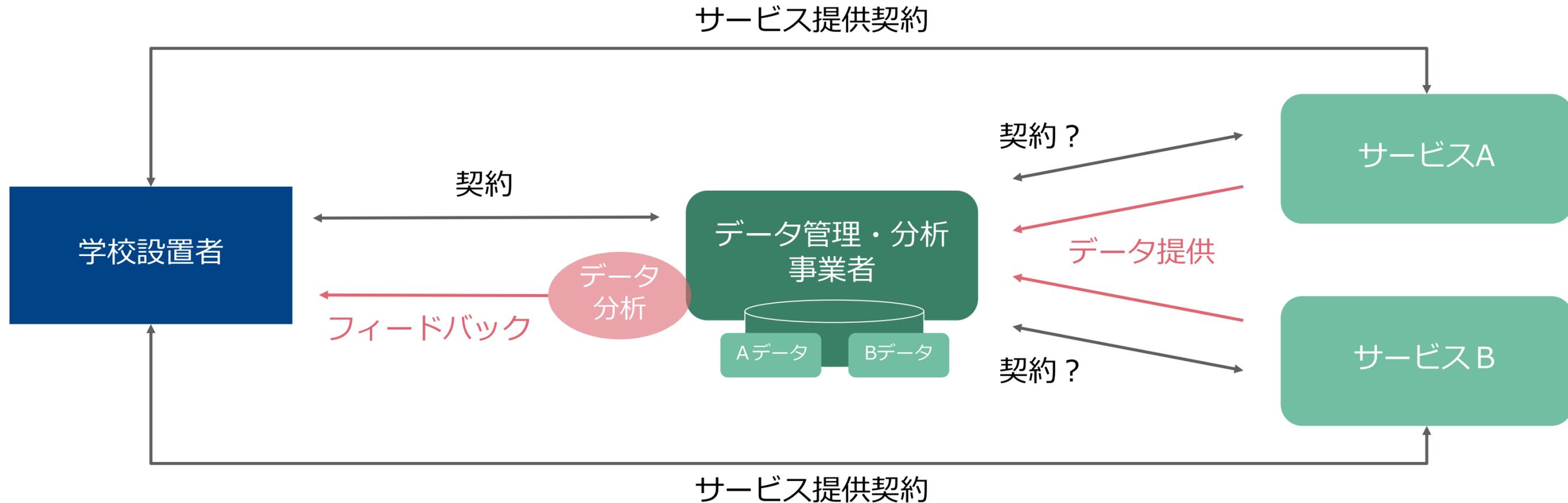
情報の受け渡しは「委託」で行うことが大半



「委託」の場合は契約単位(≒学校設置者)での管理が必要、複数契約のデータを踏まえた改善・分析は良いのか？

# 情報の取り扱い・契約に関する整理②

複数サービスのデータを統合分析し、学校現場にフィードバック

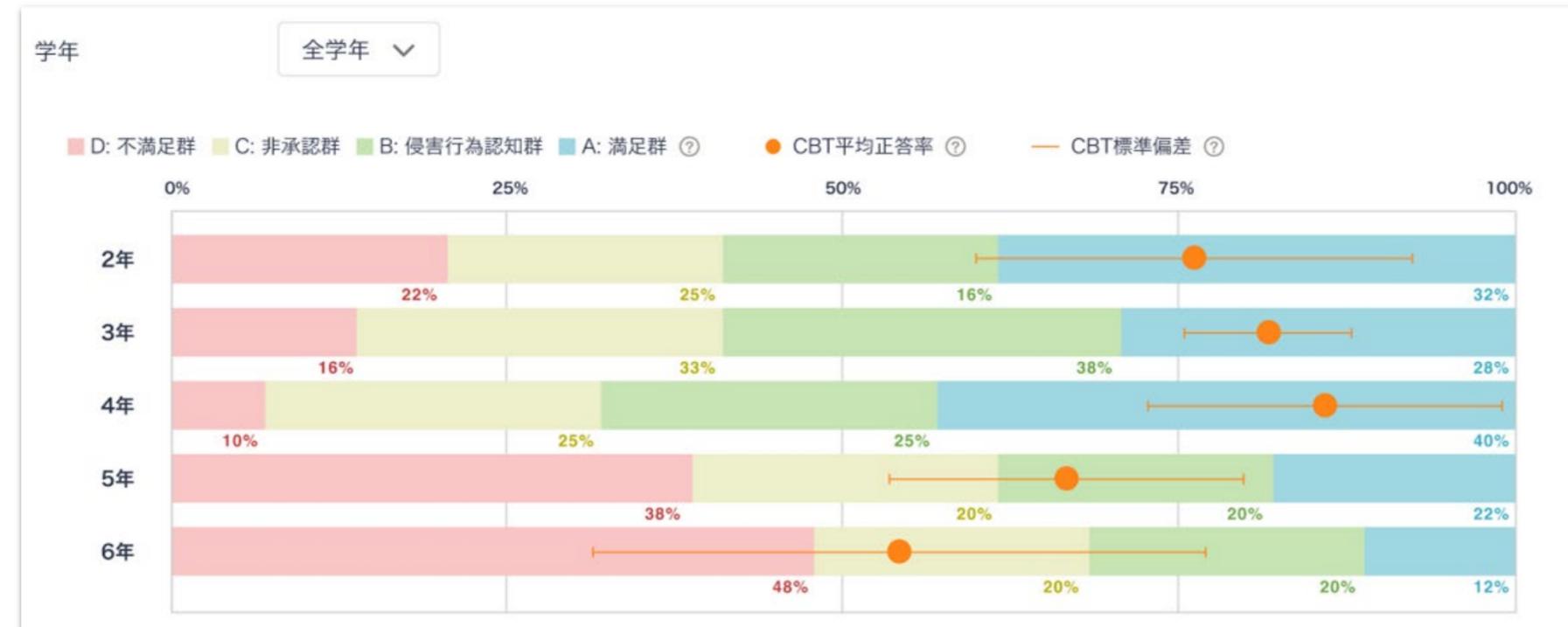


- ✓ サービス提供にあたっての契約・利用規約等における利用目的などの提示はどのように行うと良いのか？
- ✓ サービス提供事業者とデータ管理・分析事業者間でどのような契約が必要となるのか？
- ✓ データを統合管理する事業者に求められる対応や責務はどのように整理すれば良いか？

etc.

# 参考：複数サービスでのデータ掛け合わせ分析例

C B Tの結果と学級満足度調査(意識調査)を掛け合わせて可視化する例

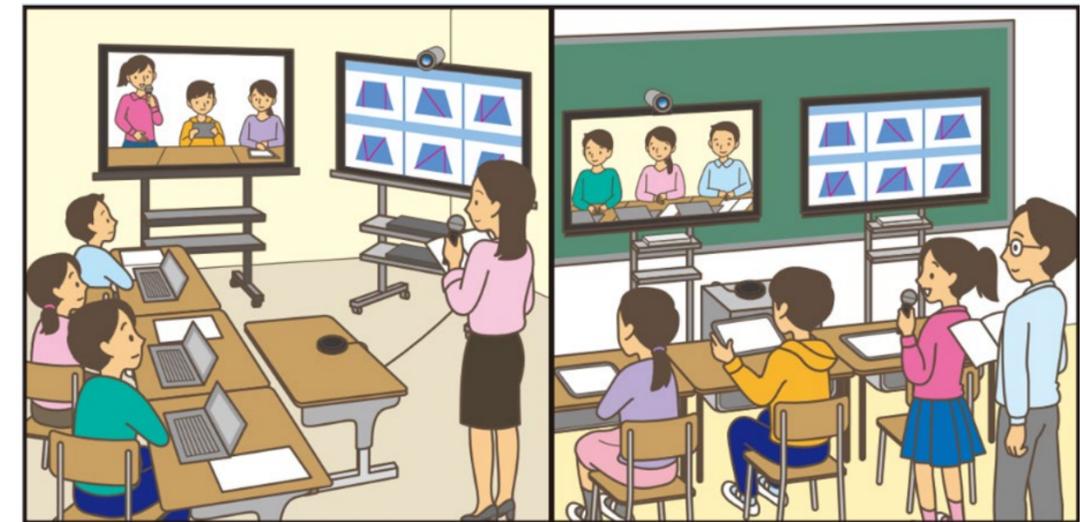
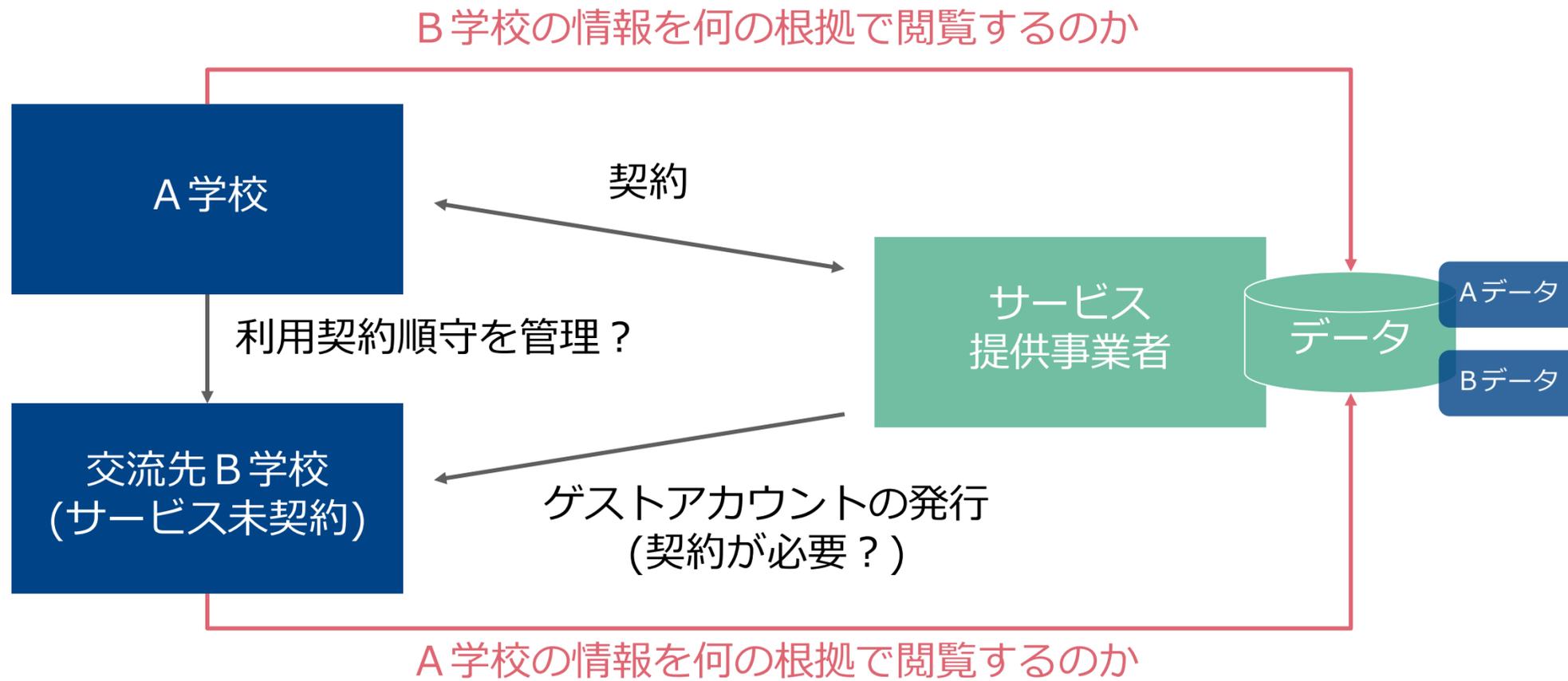


※開発検討中の内容のため、提供内容は変わる可能性があります

複数学校設置者の学習データを踏まえた標準偏差の提示、複数サービスの掛け合わせによる可視化、  
①と②のケースの両方に該当

# 情報の取り扱い・契約に関する整理③

サービスを契約しているA学校と未契約のB学校で協働学習を行うケース



※文部科学省「遠隔教育システム活用ガイドブック」より

学校間での遠隔授業等を行う場合、データの取り扱いはどのような契約でどう取り扱えば良いのた?

# 情報の取り扱い・契約に関する整理（まとめ）

- ✓ 複数の学校設置者の情報をどのように取り扱うのか
- ✓ 複数のサービスの情報をどのように取り扱うのか
- ✓ 複数の学校設置者が1つのサービスを利用する場合どのような契約が必要なのか

「データ駆動型教育」を実現していくうえでは、複数の主体者やデータが関連するユースケースについて整理が必要な項目だと考えている。

事業者としては、整理の内容に応じて契約条件の変更や機能開発などが必要となることから、手戻りを最小化するためにも、ガイドブックやFAQなど何らかの形で早期の整理をお願いしたい。

上記と関連し「教育・学習データのコントロール」の望ましい姿についても整理が必要ではないか。

- ✓ 「学校教育の充実」などの公務目的の範囲で、どこまでデータ活用が可能なのか
- ✓ 学校向けサービスを通じて、本人同意を前提とした場合でも広告等を行うことの是非
- ※ [Human Rights Watchのレポート](#)でもあったように子どもの権利や情報の保護の必要性

など、多様なサービスが普及されつつある中で、事前に一定のガイドが求められているのではないか。

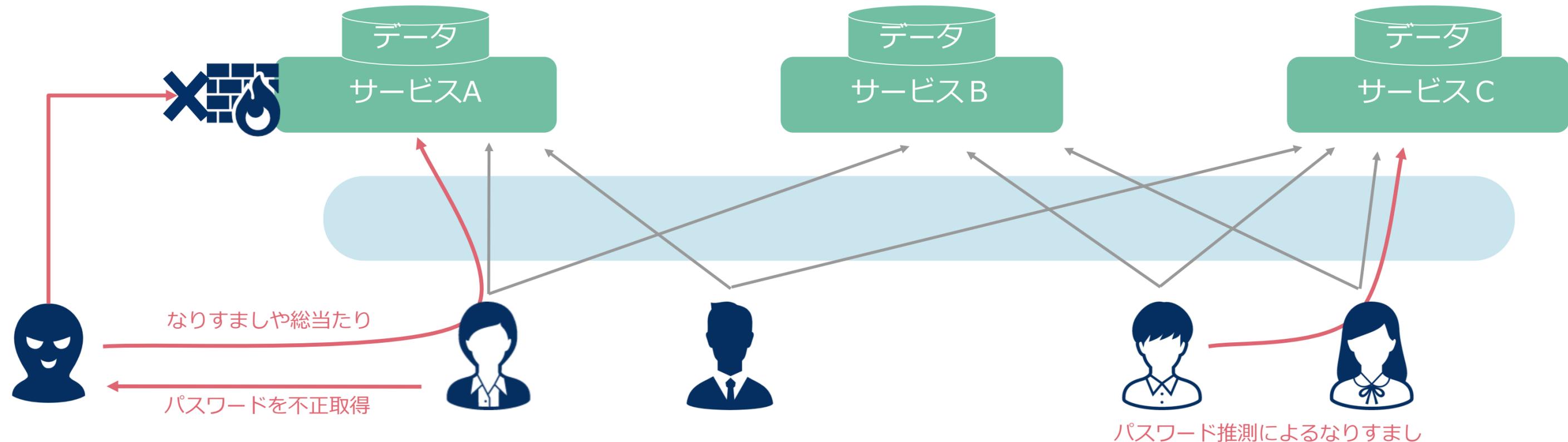
# システムとして対策が必要なこと①

サービス提供事業者として不正アクセス対策を行っても、表玄関の認証を通過した不正アクセスへの対応は困難

- ✓ 一般的に情報漏えいの80%以上はパスワードが要因で発生
- ✓ 児童生徒のパスワードは、予測可能なものを用いられる／変更権限が本人にないなどが散見さる

⇒ 1件の重大な情報漏えい等によって、データ駆動型教育全体が停滞するリスク

⇒ なりすましの可能性による教育・学習データそのものの信頼性低下



# システムとして対策が必要なこと②



## W3CとFIDO Alliance - パスワード不要の安全なログインが勧告化に

主要なブラウザやプラットフォームでは、生体認証、モバイル機器、FIDOセキュリティキーによる簡単で安全なログインのための新しいWeb標準のサポートが組み込まれています

Read [testimonials from W3C Members](#)

[Translations](#) | [W3C Press Release Archive](#)

<https://www.w3.org/> 2019年3月4日 マウンテンビュー・カリフォルニア - W3C (ワールド・ワイド・ウェブ・コンソーシアム) と FIDO アライアンス は本日、Web Authentication (WebAuthn。以下、Web認証) 仕様を正式発表し

ました。この技術は世界中のユーザーにとってWebをより安全に、そしてより使いやすくするための大きな前進です。

# WebAuthn

※[W3C/FIDO ALLIANCE 2018.3.4 Press Release](#)より

## Apple・Google・Microsoft、パスワードレス認証で連携

北米 [+フォローする](#)

2022年5月6日 4:57 [有料会員限定]

保存

Think! 多様な観点からニュースを考える

[浅川直輝さんの投稿](#)

【シリコンバレー=白石武志】アップルとグーグル、マイクロソフトの米IT（情報技術）大手3社は5日、パスワードが要らないオンライン認証の仕組みを各社が開発する基本ソフト（OS）やブラウザ（閲覧ソフト）上でより使いやすくすると共同発表した。解読や漏洩のおそれがあるパスワードの使用頻度を減らすことで、各種のアプリやウェブサイトを安全に利用できるようにする。

アップルなど3社はスマートフォンを本人確認...

※[日経新聞Webサイト 2022.5.6](#)より

- ✓ データ駆動型教育の実現には、2022.5に改訂版が公表された「[教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン](#)」に記載されている「アクセス制御による対策を講じたシステム構成」の普及が求められる
- ✓ 教職員の負担増となる人的運用による対策ではなく、パスワードレス認証の導入などシステムによって現状より運用負荷が下がりつつ、セキュリティ強度が高まる仕組みの導入が必要であり、事故発生の事後対応ではなく予算措置等による事前対策が必要ではないか